



特集

動物のいる暮らし めざせ！

満点飼い主

動物は、私たちの生活をさまざまな形で豊かにしてくれる、人間にとってかけがえのない存在です。動物愛護管理法では、国民の間に広く動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めてもらうため、9月20日から26日を動物愛護週間と定めています。この機会に命ある動物の正しい知識を知り、満点飼い主を目指しましょう。

かわりの深い動物たち

日本では、およそ3世帯に1世帯が犬や猫などを飼っていると言われ、動物は私たちの日常生活に大きなかわりを持っていきます。

動物のいる暮らしは、私たちを楽しませ、安らぎや幸せを与えてくれます。

動物の存在は、家庭内や隣人との会話を増やして人間関係を円滑にしたり、いたわりの心や命を預かる責任の重さや大切さを教えてくれたりします。時には、心通い合わせる人

生のパートナーとなることもあります。

しかし、その一方で周囲とのトラブルの原因にもなっています。人と動物とが同じ社会の中で共に暮らしていくためには、飼い主のモラルとマナーが重要となります。

よく考えて

かわいらしい子犬や子猫などを見ると、思わず飼いたくなります。

しかし、ペットを飼うということは、『命』を預かり、『家族』

の一員として一生の責任を持つということです。

ペットは、私たちと同じように命ある存在です。毎日、食べ、排せつし、運動し、眠ります。機嫌の悪い日だってあるでしょう。ペットも意志と感情を持ち、飼い主の思い通りになりません。ペットの起こしたトラブルは全て飼い主の責任です。

「かわいい」という気持ちだけでは飼えません。「こんなはずじゃなかった。」と途中で投げ出すことが決しないように、自分が最後まで責任をもって飼えるのか、飼い始める前によく考えましょう。

今月のイチオシ！



一から作り上げる手作りの祭り
10周年記念 新村の日納涼祭
7月15日、新村地区の地区づくり活動の一つとして行われている「納涼祭」が10周年を迎えるということで取材にお邪魔しました。会場の新村公民館は多くのお客さんでにぎわい、舞台上では、すいか割りやラムネの早飲み大会、秀岳館雅太鼓の演奏のほか、10周年ということでお楽しみ抽選会も行われました。
10年前、地区内の住民交流を目的に始まったこの「納涼祭」。台風の影響で中止になることもありました。今では、地区内の一大イベントに成長し、新村地区夏の風物詩となっています。

松本茂委員長に成功の秘訣を聞くと、「みんなの協力のおかげです。」と笑顔で話されました。



▲松本茂委員長



▲なかなか減らない!?

CONTENTS

2 もくじ／今月のイチオシ！

3 特集

動物のいる暮らし
めざせ！満点飼い主

6 農業委員会だより

9 真夏の大熱戦！
～第7回 町民体育祭夏季大会～

10 踊る！踊る！氷川の夏
～第7回 納涼祭し踊り大会～

12 けんこうだより

13 こころの健康コーナー

14 9月カレンダー
行事予定表／休日在宅医／まちへのホットライン

16 すくーらいふ（宮原小学校）

17 ひかわ元気！たより
～スポーツクラブで元気になろう～

18 立神峡里地公園だより

19 まちのトピックス！
島地地区老人会活動／熊本県中体連出場選手壮行会／第7回 氷川町子ども会球技大会／緑のカーテン設置の取り組み／全国・九州大会出場選手激励会

21 町民文芸

22 くらしの情報

27 伝言板／ひとのうごき

28 ひかわっ子写真館／有佐駅前団地入居者募集／編集後記